

- 日 時 : 令和8年8月12日(水) 10時～
- 場 所 : 海田町役場 1階 多目的室1-1A
- 出席者 : (会長) 呉工業高等専門学校 神田教授 ほか委員11名 ・ 町事務局

○ 会議次第

- 1 開会
- 2 議事

会長の選出について

3 報告事項

- (1) 循環バス利用状況について
- (2) 町内事業者との連携について

4 協議事項

循環バス運行ルート及び停留所について

5 その他

- (1) 夏休みの小学生をターゲットとした公共交通利用促進策について
- (2) 循環バス北ルート乗り残し対策 車両の改造について

	【開会】
事務局	議事 会長の選出について説明 海田町地域公共交通会議設置要綱第6条第1項の規定により、委員の互選により会長の選任を行う。 会長の選任方法について指名推薦によることではいかか。
委員	異議なし
	委員より呉高専 神田教授の推薦あり。 これについて異議なしのため、呉高専 神田教授が会長に選任。
事務局	報告事項(1) 循環バス利用状況について説明
会長	今年度、対前年比で利用者数は減少しているが、ユニークユーザー数は減少していない状況。 現金の利用者数はどのような状況か。
事務局	現金の利用者数は対前年比で1月当たり200人程度減少している。 路線バスの利用状況について運行事業者に確認したところ、路線バスにおいても利用が減少しているとのことで、全体的にバスの利用減少と見立てをしている。
会長	利用者数は減少しているが、ユニークユーザー数は減少していないことから、一人当たりの利用回数の減少や、現金のスポット利用の減少が考えられる。 運賃値上げしたのはいつか。
事務局	昨年の12月。12月の運賃改定後、1～3月で利用促進キャンペーンを実施したため、値上げの影響は4月以降に出てくると考えられる。そういった視点も踏まえ今後の利用

	状況を注視していく。
会長	昨年7月の利用が多すぎた可能性もある。昨年の4月～7月の利用が多かったのは、ミナモアなど広島駅界隈が整備された影響もあるかもしれない。 路線バスの利用状況について教えてほしい。
委員	毎年4月・5月に少し利用が落ち込み、6月に上がるといった状況。
委員	乗り残し状況について、火曜日と金曜日に集中しているように見えるが、何かあるのか。
事務局	循環バスの利用目的上位が「買い物」「通院」のため、医療機関の休診であることが多い 水曜・木曜の利用が少ないと見立てをしたこともあるが、令和7年度の曜日別の利用状況では特段の変化が見られなかったため、申し訳ないが要因については把握できていない。
会長	利用が減少している一方で、乗り残しの回数が増加しており、矛盾している状況。 現場で何かパターンや利用者層など、感じることもあるか。
委員	天候（梅雨）と気温（高温）が影響しているように感じる。 日常的に利用している人に加え、スポットで利用されている方が見受けられる。
会長	今後、天気や気温と併せた利用状況の確認をお願いしたい。
事務局	報告事項(2) 町内事業者との連携について説明
会長	運行事業者側として、この事業を進める上でハードルになることがあるか。
委員	乗車証明書の発行方法について。
事務局	運転手の負担が発生しない方法を探りたいと考えている。例えば、乗車証明書を吊るして置いて、利用客にセルフで取得してもらうなど。東広島市ののんバスのように整理券発行機での発行が望ましいが、可能な限りコストは押さえたい。
会長	試行開始までの始まるタイミングで、広報誌に掲載することは可能か。
事務局	広報誌への掲載は可能。広報紙も含め周知を図りたい。
事務局	協議事項 循環バス運行ルート及び停留所について説明
会長	事務局の説明をまとめると、 「複数のデータを分析した結果、南ルートにおいては現行ルートが現状では最適と考察。 北ルートにおいては一部の区間で見直しの余地があるというところまで導くことができた。今日この会議でルート改編までも決めるものではないが、今後見直しを進める方向性について委員の皆さんに確認したい。」 という趣旨で間違いはないか。
事務局	会長のまとめのとおり。
委員	仮に一部バス停をカットしたとしても、そのルートを運行するのなら、バス停をカットする必要はないのでは。
事務局	運行ルート及び停留所の見直しについては、想定し得るもの複数について、それらの可否について運行事業者等に確認をしながら検討する。
会長	仮に運行ルートを変更するとした場合には、諸般の届出等ルート変更の手続きに要する期間を考慮し、スケジュール感をもって進めて頂きたい。
事務局	その他(1) 夏休みの小学生をターゲットとした公共交通利用促進策について説明

	その他(2) 循環バス北ルート乗り残し対策 車両改造について説明
委員	県からの補足事項としては、「こども 50 円バス券」を紛失したという問い合わせが毎日数件ある。裏返すと、注目して利用してもらっていると言える。
会長	現場での利用状況を教えてほしい。
委員	実際に、小学生が「こども 50 円バス券」を掲示せず、通常運賃を支払って降車するケースがある。 路線バスの乗務において、1 日当たりの「こども 50 円バス券」の利用は数名程度。
会長	子供が単に「こども 50 円バス券」を忘れている可能性もある。ぜひ皆さんの身の回りの方にもこのキャンペーンについて周知してほしい。
	【閉会】